



A②外水 売買川

河川別洪水浸水想定区域図

売買川の位置は113ページをご覧ください。

帯広市HP

本ガイドを
ご確認
いただけます



洪水キキクル

リアルタイムの
危険度をご確認
いただけます



WEB版ハザードマップ

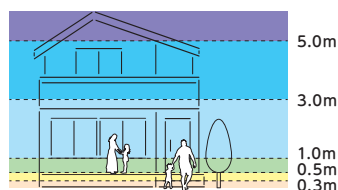
洪水の影響を詳細に
ご確認いただけます
Viewable in English



国や北海道では、想定し得る最大規模の降雨(1,000年に1度程度)により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」として指定・公表しています。この図は、売買川の洪水浸水想定区域を表示しています。

浸水想定区域凡例

- 5.0m以上の浸水想定範囲
- 3.0m～5.0m未満の浸水想定範囲
- 1.0m～3.0m未満の浸水想定範囲
- 0.5m～1.0m未満の浸水想定範囲
- 0.3m～0.5m未満の浸水想定範囲
- 0.3m未満の浸水想定範囲



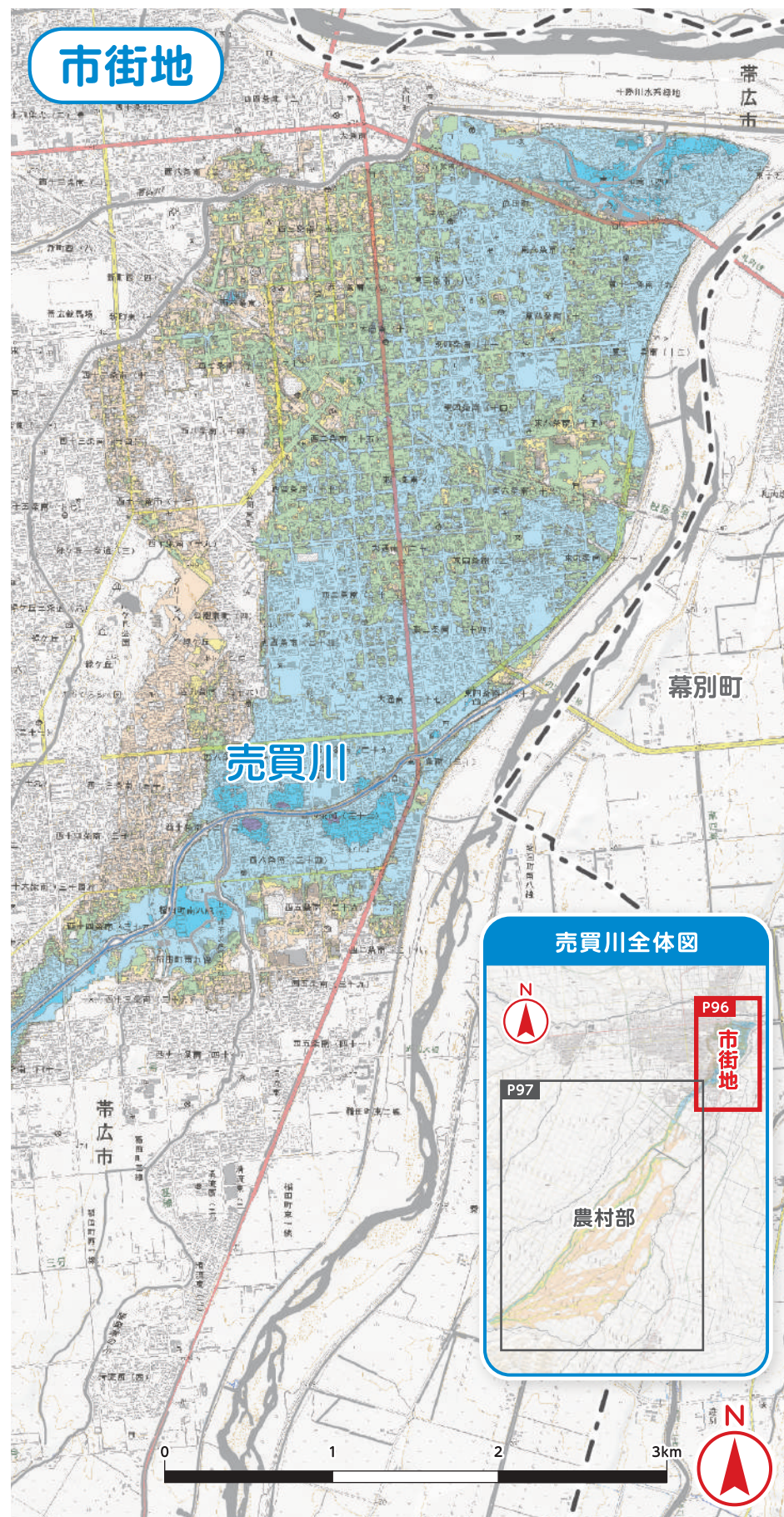
より早く、 浸水エリアの外へ

浸水想定区域を確認して、より安全な指定避難所・指定緊急避難場所へ避難しましょう。どこの指定避難所・指定緊急避難場所に行っても構いません。また、洪水時に浸水が想定される建物であっても、時間に余裕がない場合は、上階層に避難(垂直避難)して安全を確保する方法もあります(36ページ参照)。

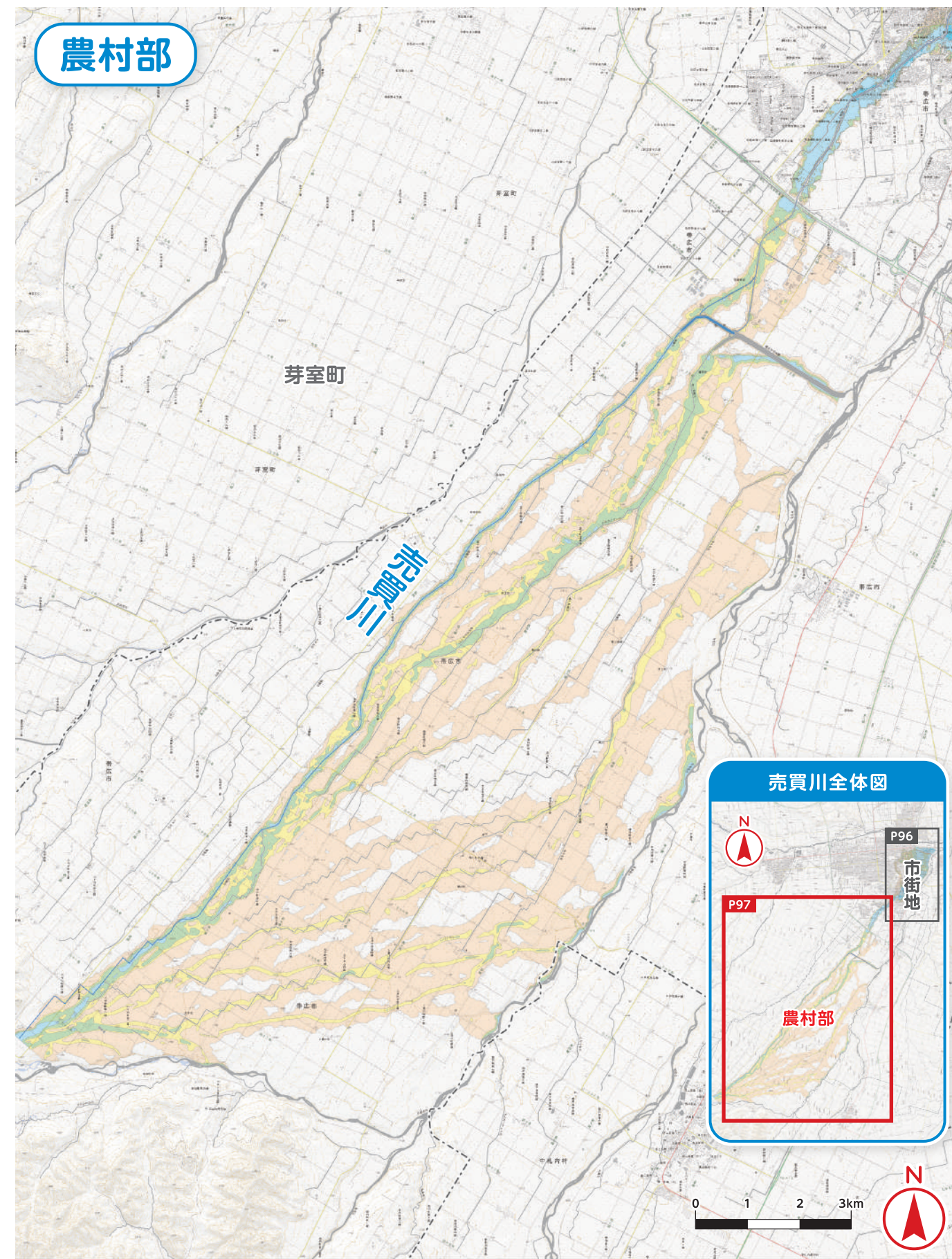
建物の地下の浸水に 注意しましょう

浸水の危険性を感じた時は、早めに地上階に避難しましょう。

- 地下では地上の様子がわかりません。
- 地上が浸水すると一気に水が流れ込んできます。
- 水圧でドアを開けることができなくなります。
- 浸水すると停電や漏電のおそれがあります。



農村部



測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 4JHf 177 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。